【キャンパス情報】毎日新聞 1969. 6. 21 (引用)

『関西大

体育会系が学生組織を牛耳っていたが、学内民主化を叫ぶ反日共系学生たちが20日、全共闘を結成、理事長室や本部事務局などがある大会館を封鎖した。同大学では、今年二月にも反日共系学生が社会学部学舎を封鎖したが、こんどは反体育会感情をむき出しにした紛争で、今後学生どうしの衝突が心配される。』(写真は毎日ムックから転載)

【関西大再び騒然 全共闘、体育会系とこぜり合い】毎日新聞 1969. 6. 23 (引用)

『封鎖さわぎが一段落したばかりの関西大学で22日朝、再び全学共闘会議派の学生が関大会館を占拠、表にバリケードを築いてたてこもり、封鎖に反対する体育会系学生と深夜までにらみあった。

このため大学側は緊急部局長会議を開き、両派が衝突したときは、警察の出動を要請することを決めるとともに、実力行使を避けるよう説得をつづけた。

全共闘(文、社会、商三学部自治会と五学部闘争委員会で組織)は21日午後7時すぎ、バリケード封鎖中の関大会館から自主的に撤退、姿を消したが、22日午前10時ごろ、“外人部隊”を含め約150名のヘルメット学生を動員、会館を再占拠した。

このあと全共闘は会館前の広場に立てカンバン、机などでバリケードをつくり、館内に角材、鉄パイプ、石などを持ち込み、さらに小型トラックで食料を運び込んで長期封鎖の体制にはいった。

一方、体育会、文化系の学生約500人も約400メートル離れた体育館やサークル館3ヶ所にたてこもり、通路にバリケードを築いてにらみあった。

両派の学生は夜にはいってから再三鉄パイプなどをふりかざしてこぜりあいを繰返した。』

【キャンパス情報】毎日新聞 1969. 6. 24 (引用)

『機動隊導入を決議

<関西大>全共闘(反日共系)が大学本部を封鎖しているが、学友会執行部(体育会系)は23日、全学集会を開き「機動隊導入を大学側に要請する」と決議した。

全学集会は約五千人の学生が参加、杉原四郎教学部長、桜田誉学生部長らも出席した。

全共闘はこの決議に強く反発しているので、紛争はいつそうこじれそうだ。』